

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 金 4	必修選択	必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語Ⅱ Comprehensive English Ⅱ			
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室		
対象学生(クラス等)	M13	科目分類	外国語科目(英語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:池田 俊也 /Eメールアドレス:t-ikeda@net.nagasaki-u.ac.jp /研究室:教育学部6階 /TEL:819-2092 /オフィスアワー:在室時随時				
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:①総合英語Ⅰで習得した総合的な英語の力をさらに伸ばすこと。 ②Paragraph Readingを念頭においたRapid Readingと聴解力の養成。 授業方法:①「現代社会の様々な問題」に関連したトピックについて、複眼的視点から捉えたテキストを使用するが、授業は「自分の持っている背景知識を最大限に活用して、辞書に頼らず類推力を働かせながら重要な要素をすばやく読み取る力」をつける内容になる。リーディングは各パラグラフごとに学生に担当してもらう。 ②あわせて、リスニングではこれまでに習得した聴解能力をさらに伸ばすために、ToEIC Testに準拠した問題集を使い、毎時間小テスト形式で進める。 授業到達目標:要点を的確につかみ取る英語読解力と基本的な英語聴解力を身につけること。				
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要):冒頭10分間で、リスニング小テストを行い、解答及びポイントの解説を終えた後、テキストの輪読、及び解説を名簿順に以下の内容に沿って行なう。 <i>Knowledge in the Making</i> : <i>Listening Navigator for the ToEIC Test</i> , (1回~4回:以下の項目で環境問題を考える) (以下のトピックに関するリスニングの小テストを行なう) 第1回:The wisdom of Crowds ①Around the House 第2回:The language of Culture ②Telephone Talk 第3回:Black Gold and the Rise of Biofuels ③Getting There 第4回:Global Warming ④Hotel Life (5回~8回:以下の項目で健康問題を考える) 第5回:Shall we play a game? ⑤Small Talk 第6回:The Happiest Day of our Lives ⑥Weekends 第7回:Ironing on the top of the Mountain ⑦Stepping Out 第8回:You are what you Eat ⑧Meeting People (9回~12回:以下の項目で経済問題を考える) 第9回:Lois Vuitton and the Rise of Brands ⑨Perspectives 第10回:The Paperless Office ⑩Apologizing 第11回:e-Business ⑪Job-Hunting 第12回:Who benefits from Foreign Aid? ⑫Resume Writing (13回~14回:以下の項目で科学技術の問題を考える) 第13回:The Value of Genetically Modified Foods ⑬Persuading Others 第14回:Wonderbrain ⑭In the News 第15回:後期授業のまとめと定期試験				
キーワード				
教科書・教材・参考書	John Burton, <i>Knowledge in the Making</i> , 成美堂 Sean Mahoney, <i>New Essential Listening for the ToEIC Test</i> , 金星堂 テキストは第1回の授業で販売する。			
成績評価の方法・基準等	期末筆記試験・小テストの結果(80%)と授業中の発表・授業への取り組み方(20%)など総合的に評価する。			
受講要件(履修条件)	クラス指定であるため、特別な条件はないが、再履修の学生は単位を落とした理由を良く考えて、授業に臨んで貰いたい。			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	既習外国語			
備考(準備学習等)	予習は必ず終えていること。辞書必携。			